

【沖縄県立開邦高等学校】

(地理歴史) 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
地域研究Ⅱ (日本史分野)	2単位 (2)	学術文科 2年1組・2組

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書・副教材等	教科書：日本史探究『詳説日本史』(山川出版社) 副教材：『図説 日本史通覧』(帝国書院) 『日本史用語集 改訂版 A・B 共用』(山川出版社) 『日本史重要語句 Check List 2023 新課程版』(啓隆社)
学習形態	一斉授業を基本に、適宜グループ授業を実施する。

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
【評価の方法】 定期考査／提出課題／発問評価	【評価の方法】 定期考査／提出課題／発問評価／ 発表・レポート提出	【評価の方法】 提出課題／授業態度／発表・レポート提出

月	学習項目	学習目標および評価の観点	a b c			考査
			a	b	c	
4	第Ⅰ部 原始・古代 1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 ●歴史資料と原始・古代の展望	<ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 	○			1 学 期 中 間 考 査
	5	2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	<ul style="list-style-type: none"> 国家の形成と古墳文化、推古朝の政権運営や飛鳥文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 中国の歴史書の記事、日本列島内外の遺物、小国の王墓の副葬品などをもとに、「中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味」「小国の形成過程」「仏教の受容や遣隋使の派遣」などについて多面的・多角的に考察し表現している。 日本列島の政治や社会の状況、東アジアとの交流と変化について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○		
6	3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などの根拠を示して表現している。 律令国家形成期の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 律令政治の導入と社会の変化、国家と仏教文化の展開について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			1 学 期 期 末 考 査

月	学習項目	学習目標および評価の観点	a	b	c	考査
7	4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族政治の展開，文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解する。 ・地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈などを，根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			
	第Ⅱ部 中世 5章 院政と武士政権の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権 ●歴史資料と中世の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の展開を理解する。 ・権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現する。 ・時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。 ・中世の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取り，表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通じて読み取れる情報から，中世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 	○			
	6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解する。 ・公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			
8 9	7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地方権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解する。 ・社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			
10	第Ⅲ部 近世 8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化 ●歴史資料と近世の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解する。 ・村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現する。 ・時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。 ・近世の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取り，表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，近世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 	○			2 学期 期末 考査
11	9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> ・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係などを基に，幕藩体制の確立の特色を理解する。 ・支配秩序の形成と身分制，技術の向上と開発の進展，産業の発達，学問・文化の発展を基に，近世の社会・文化の特色を理解する。 ・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現する。 ・交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			

月	学習項目	学習目標および評価の観点	a	b	c	考査
12	10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> ・飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期など根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			学年末考査
1	第IV部 近代・現代 11章 近代から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	<ul style="list-style-type: none"> ・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 	○			
2	●歴史資料と近代・現代の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 		○	○	
3	12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解する。 ・アジアや欧米諸国との関係、欧米の思想・文化の影響などに着目して、主題を設定し、日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを、根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	○			
				○	○	
					○	

評価	
学期の評価	定期考査，提出課題，発問評価，発表・レポート提出をもとに，識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度を，総合的に評価する。
年間の評価	知識・技能，思考・判断・表現，主体的に学習に取り組む態度を，各学期の評価をもとに総合的に評価する。